

山名・山域	上州武尊山
山行目的	秋の武尊山を歩き雪山の下見をする
山行期間	2016年10月24日（月）前日発日帰り
参加者	2名

【 ルート、コースタイム 】

10月24日 605 ㌰㌱㌴ P—715 川場野営場分岐—748 前武尊—835 家の串—857 中ノ岳分岐—922 沖武尊
（下山）930 沖武尊—1050 前武尊—1215 ㌰㌱㌴ P （全行程 6時間 10分）

【 上州武尊山 】

群馬県北部に位置する上州武尊山（2158m）は附近の尾瀬、日光、谷川岳等に比べ地味な存在ながら 100 名山として気になる山である。上越国境に近い為豪雪地帯であり、冬に入山するのはエキスパートに限られた時代もあったが、近年スキー場を利用しての雪山山行が盛んである。

今回、会の雪山山行の下見を兼ねて㌰㌱㌴から前武尊を経由して沖武尊ビスタの山行を試みた。

【 ㌰㌱㌴～沖武尊（武尊山）】

登山口は㌰㌱㌴の駐車場奥にある。九十九折に樹林帯を抜けるとスキー場ゲレンデの中間部に出る。ここから管理道路をスキー場最上部まで単調な車道歩きが続く。最終リフト終点の手前から左に入り、ひと登りで川場野営場分岐に出る。そこからゴツゴツした急登の登山道が始まりワビィチで前武尊だ。

熊笹を刈り払いした歩き難い右傾斜の登山道の後、剣ヶ峰は左から巻く。小岩峰を越え、岩場をドライブスリムに慎重に行くと平坦な家の串頂上になる。僅かな下りの後は刃渡りの岩稜帯が暫く続き、目前に中ノ岳が迫ると武尊牧場への分岐が現れる。牧場方面は賑やかな稜線で荒々しいところは無いように見える。

三つ池は冬場の幕営適地で地形的に風が遮られるようだ。山腹を巻いて最後に僅かな登りをクリアすると沖武尊に着く。上州武尊山の頂上だ。360度の眺望は圧巻で、谷川、皇海山、日光白根そして尾瀬の山々が見事に鎮座する。最高の好天で当に登山日和だがなにせ上州の風が強く冷たい。山頂で暫く休憩をと思ったが、結局 5分程度でそそくさと下山にとりかかる。

往路をひたすら忠実に辿り前武尊に戻る。旭小屋への道を右に分けて下りにかかり、木の根や岩の段差に注意しながらスキー場上部に出る。ゲレンデをひらすら下り、スキー場の建物の脇から駐車場に帰り着く。何となく寂しい秋のスキー場を後に真新しい「花咲の湯」で一風呂浴び、地元の蕎麦を堪能し帰浜する。

【 登山事情 】

- ・登山口は「武尊神社」「川場口」「旭小屋」「野営場」「㌰㌱㌴」「武尊牧場」とあるが何れもアクセスは芳しくない。「武尊牧場」上の東俣駐車場へは雪崩被害で道路寸断通行不能。
- ・道の駅「川場田園プラザ」は規模の大きな施設で利用価値は高い。スキー場シャトルバス発着場にもなる。
- ・帰りの立寄り温泉施設は数多くあり、入湯料も手頃だ。
- ・12月からはスタッドレス。

以上